

# 検討の観点別に見た特色

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
範囲	● 取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	● 低・中・高の各学年の目標及び内容を踏まえて精選された題材と教材によって、必要な範囲の内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。	各学年目次・各ページ
程度	● 教材や学習活動の程度は、児童の心身の発達段階や能力の実態に適切しているか。	● 音楽的な能力を段階的に無理なく身に付けていくために、各学年に応じて適切な教材が用意されている。 ● 楽曲や歌詞の内容、音域などについても児童の心身の発達段階に応じて十分に考慮されている。 ● 柔軟で弾力的な学習活動を行えるように程度の差が考慮された教材が扱われており、各校や児童の実態に合わせて活動を選択することができるように配慮されている。	1年 P.16-25 1年 P.30・31, 42・43 2年 P.38・39, 48・49, 58・59 3年 P.42・43 4年 P.8
内容	● 基礎的・基本的な内容の定着については、適切に配慮されているか。	● 相互に関連性をもった教材の配列により、積み重ねの学習をすることで、音楽活動の基礎的な能力の定着、伸長が着実に図れるように配慮されている。 ● 各学年で学んだ重要な学習事項を、児童が自分で振り返り確認することができる「ふり返りのページ」が設けられており、基礎的・基本的な学力の定着が図られるように配慮されている。	各学年各ページ 各学年 P.72・73
	● 思考力・判断力・表現力を育む内容が扱われているか。	● 感じ取ったことをもとに思考・判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、表現教材及び鑑賞教材においては、譜例（絵譜）や挿絵を用いた説明などが充実しており、それらをもとにすることで、言語活動の充実が図られるように工夫されている。	2年 P.12・13, 54・55 3年 P.32・33 4年 P.28・29 6年 P.35
	● 教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。	● 明確な学習の観点のもと、幅広く学習活動を行うことができるように多様な教材が用意されており、児童が意欲的に取り組むことができるような配慮がなされている。 ● 児童の心情に即した新鮮でアイデアに満ちた教材が扱われており、興味・関心をもって学習を進めることができるように配慮されている。	3年 P.38-41 4年 P.63 5年 P.16・17, 25, 33, 62・63 6年 P.52・53
	● 児童の生活経験や興味・関心、及び自主的な学習活動について配慮されているか。	● 手遊び歌や縄跳び歌などのわらべうた、地域に伝わる伝統芸能など、児童の生活に即した教材が学年段階に応じて、幅広く用意されている。 ● 児童が自ら進んで学習活動に取り組むことができるように、学習の目標や具体的な活動例、ヒント、資料などが豊富に用意されている。 ● 各学年の発達段階に応じたテーマで特集を設け、児童が興味・関心をもちながら主体的に学習を進めていくことができるように配慮されている。 ● 巻末のページには、鑑賞資料やリコーダーの運指表、楽典事項、振り返り事項をまとめて設けているなど、児童が興味・関心をもちながら主体的に学習を進めていくことができるように配慮されている。	1年 P.52-55 2年 P.50-53 3～6年 P.2・3 1年 P.72・73 2年 P.72・73 3年 P.66-74 4年 P.66-74 5年 P.66-74 6年 P.66-74
	● 音遊びや即興的な表現活動など、「音楽づくり」の学習活動について適切に配慮されているか。	● 学習のねらいや活動の手だてが明確に示されており、児童だれもが主体的に「音楽づくり」の学習活動に取り組むことができるように配慮されている。 ● 「音楽づくり」の教材が題材内で有機的に取り上げられており、他の音楽活動と関連させながら学習活動が進められ、学びや思いや意図を相互に生かせるように配慮されている。 ● 「音楽づくり」の教材については、各学年の発達段階を考慮した無理のないステップが踏まれており、学年を重ねるにつれて、着実に学力の積み重ねが行われるように配慮されている。	1年 P.50・51 2年 P.36・37 3年 P.26・27 4年 P.16・17, 40・41 5年 P.20・21 6年 P.20・21 2年 P.53 → 3年 P.48 → 4年 P.48 → 5年 P.44 → 6年 P.26
	● 我が国の伝統音楽や音楽文化に対する配慮はなされているか。	● 共通教材については「こころのうた」と銘打ち、我が国の文化や自然環境の保護などの視点から説明文や情景写真などが用意されており、児童が知的好奇心や感受性を働かせながら歌うことができるように配慮されている。 ● 各学年に「歌いつこう 日本の歌」として童謡や唱歌などが精選されて取り上げられており、世代を超えて日本の音楽文化を共有することができるように配慮されている。 ● 鑑賞教材として取り上げた伝統芸能や民謡などには、児童に親しみやすい切り口で学習のねらいが設定されており、鑑賞学習のポイントを押さえつつも、音楽的側面から親しめるように配慮されている。	各学年の共通教材のページ 1年 P.64・65 2年 P.64・65 3年 P.54・55 4年 P.56・57 5年 P.52・53 6年 P.48・49 3年 P.46・47 4年 P.44・45 5年 P.66・67

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
内容	● 鑑賞曲の選択及び扱いは適切であるか。	● 題材のねらいに即した選曲により、学習内容が明確になっているとともに、授業時間内で繰り返し鑑賞することができるように曲の長さについても配慮されている。 ● 題材のねらいに含まれる（共通事項）を橋渡しとして、歌唱や器楽などの表現活動と関連付けられるように鑑賞学習のねらいが設定されており、鑑賞と表現の学習が密接に関連するように工夫されている。	3年 P.44・45 4年 P.36・37 ほか 3年 P.50・51 4年 P.30・31 5年 P.14-21
	● 国際理解、情報、環境、人権教育など、社会的及び道徳的教育課題の扱いは、適切に配慮されているか。	● アジアや世界の音楽文化を扱った教材や原語を取り入れた教材、自然や社会、道徳的心情をテーマにした教材、インターネットの活用などを示唆する吹き出しが用意されるなど、適切に配慮されている。	[2年 P.4-7 5年 P.46・47, 60・61 6年 P.42・43 3年 P.6・7, 60 5年 P.8・9, 54・55 6年 P.44・45 3年 P.68・69 4年 P.68・69
(共通事項)	● (共通事項) は、学習指導を進めるうえで適切に扱われているか。	● (共通事項) の学習は、そのみに特化することなく、表現及び鑑賞の各活動と一体となって機能的に組織されており、児童が理解しやすい言葉を用いた文章や吹き出しなどで繰り返し示されるなど、適切に扱われている。	各学年各ページ
全体の構成	● 各学校や児童の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。	● 全学年の系統は題材と教材の扱いによって維持され、題材ごとに教材、活動、程度などが柔軟に選択できるように弾力的に組織されており、学習指導計画の作成に当たり、各学校や児童の実態に対応できるように適切に配慮されている。	各学年各ページ
	● 系統的・発展的に組織されているか。	● 学習指導要領に示されている低・中・高の各学年の目標及び内容を踏まえた題材構成が採られており、各学年、全学年を通して系統的・発展的に組織されている。 ● リズム唱、階名唱、合唱などの歌唱の技能や、鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの演奏の技能については、発達段階を考慮した無理のないステップが踏まれている。	リズム唱：1年 P.16-25 階名唱：1年 P.36・37 2年 P.22・23 3年 P.8 4年 P.8 ほか 鍵盤ハーモニカ：1年 P.28-35 2年 P.20・21 3年 P.8 リコーダー： 3年 P.16-23, 34・35 4年 P.22, 32・33
	● 教材の配列は、単なる羅列ではなく、教材性に即して適切であるか。	● 系統性及び発展性をもって組織化された題材を軸に、表現と鑑賞の教材が関連、対照、対比されながら組み合わせられており、教材性を生かした多様で効果的な学習が展開できるように配列されている。	各学年各ページ
	● 教材や文章の分量、バランス、内容は適切であるか。	● 題材、教材の分量及びバランスは、各学年の授業時数に配慮したものとされている。 ● 題材のねらいに即して、学習内容や関連教材などが有機的に組織されており、教材や学習活動の分量を弾力的に増減できるように配慮されている。 ● 文章は児童に分かりやすく丁寧に示されており、文章量も適切なものとなっている。	各学年各ページ
	● 説明文やイラストなどは、学習指導を進めるうえで適切であるか。	● 楽譜や文字の大きさなどは、児童の発達段階に応じて設定されており、見やすさや読みやすさについても十分な配慮がなされている。 ● イラストや写真などの取り上げ方もアイデアにあふれ、音楽的感覚の育成や知的理解、学習活動の一助となるように、児童の感性に即して適切に扱われている。	各学年各ページ 1年 P.20-23, 44・45 2年 P.12・13 3年 P.2・3 4年 P.6・7 6年 P.68・69
表記・体裁・装丁	● ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	● 教科書紙面全体として、区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるように配慮されている。 ● 文章や歌詞、楽譜などの近くにイラストや写真が配置される場合には、学習上必要な情報に確実に注目することができるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障害などをもつ児童への配慮が行き届いている。	各学年各ページ
	● 全体の体裁は、学習指導を進めるうえで適切であるか。	● 紙面の大きさは適切で、レイアウトも見やすく統一感がある。 ● 題材ごとに通し番号が振られ、ツメによって題材のまとまりが分かりやすく示されるなど、見直しをもって学習することができるように工夫されている。	各学年目次及び各ページ
	● 印刷・製本などは適切であるか。	● 楽譜、文字、イラスト、写真など、印刷の発色もよく、鮮明なものになっている。 ● 製本は開きがよく、長期の使用に十分に耐える堅牢なものとなっている。 ● 再生紙の使用や、リサイクル可能な表紙加工が施されるなど、環境にも配慮されている。	各学年各ページ